

理工学研究科生産環境工学専攻 M2徳増純男さんが
非破壊検査協会 シンポジウムポスター賞を受賞

要約：

平成26年1月20, 21日に開催された日本非破壊検査協会「超音波による非破壊評価シンポジウム」にて、理工学研究科生産環境工学専攻M2の徳増純男さんがポスター賞を受賞しました。ポスターセッションで発表した中から、特に優秀な研究発表と認められたものに対して贈呈されるものです。

今回受賞した発表は「フレキシブルアレイ探触子を利用した FSAP 方式による金属内部欠陥の高速イメージング」というタイトルで行われたものです。凹凸や曲面を有する複雑な表面に可撓性アレイ探触子を設置し、開口合成処理に基づいて内部欠陥を高精度に再構成するものです。GPGPU を導入した開口合成技術によってリアルタイムに欠陥を再構成でき、実際の工業製品等に应用できるようにプロトタイプシステムをデモンストレーションしたことが評価され、受賞の運びとなりました。

